

事務事業チェックシート

事務事業No 612 事業名 教育調査研究事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		教育総務費	
	目		教育研究所費	
	大事業		教育研究所事業	
事項		教育調査研究事業		

[長期総合計画]

分野別目標	5	子どもが輝き、文化が薫る教育のまち
政策	1	学校教育の充実
施策	1	学校の教育力の充実
基本方針	2	調査研究の推進

[まち・ひと・しごと創生総合戦略]

基本目標	IV	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る
政策	6	教育の充実
施策	A	学校教育の充実

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束	地元教育の推進			

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間	～		
事業実施の根拠法令	和歌山市立教育研究所条例、和歌山市立教育研究所規則		
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	教育研究所	市川 圭造 (435-1192)	
関連課			

1 事業概要及び実施内容

事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か)		事業内容				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 教育の諸課題について実践的研究を行い、その研究成果を普及させることにより学校教育の充実と発展に資する。 教育論文・実践を募集し、個人並びに学校・グループの教育研究を奨励し、和歌山市の教育水準の高揚を図る。 小学校3年生児童を対象に社会科副読本「かがやく和歌山市」を配付し、和歌山市について学びながら、子どもの郷土に対する誇りや愛着の心を育成する。 	<p><研究員活動>教育研究員を構成員として6つの研究班を結成し、2年間にわたり教育の諸課題について実践的研究を行い、研究成果を「研究紀要」にまとめ各校の教育実践に生かす。</p> <p><教育論文表彰事業>幼・小・中・高等学校すべての校種から「教育論文・実践録」を公募し、個人並びに学校・グループの教育研究を奨励する。これらの研究成果を全国の各機関に発信し、研究成果の共有を図る。</p> <p><副読本「かがやく和歌山市」の配付>和歌山市立小学校3年生児童に、社会科副読本「かがやく和歌山市」を配付し、地域学習に生かす。</p>				
	実施内容	<p>平成25年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成18年度より研究紀要を和歌山市情報教育ネットワーク「さいねっと」に掲載している。また、平成23年度分の研究紀要と教育論文をまとめたCD-ROMを23機関と和歌山市の幼・小・中・高の学校へ配付する。 ○「かがやく和歌山市」を53小学校の3年生に配付する。 ○教育論文を募集 38点応募 	<p>平成26年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○H26年度の研究員活動は次の6テーマで実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・社会科の単元学習 ・中学校英語教育 ・ICT教育 ・小学校外国語活動 ・中学校国語科 ・効果的な校内研修の在り方 ○「かがやく和歌山市」の配付 ○教育論文の募集 50点応募 	<p>平成27年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○H27年度の研究員活動は次の6テーマで実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校外国語活動 ・中学校国語科 ・効果的な校内研修の在り方 ・QUを活用した集団アセスメント ・小学校算数授業展開の新しい形 ・ICT教育 ○「かがやく和歌山市」の配付 ○教育論文の募集 68点応募 	<p>平成28年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○H28年度の研究員活動は次の6テーマを予定。 <ul style="list-style-type: none"> ・QUを活用した集団アセスメント ・小学校算数授業展開の新しい形 ・ICT教育 ・小学校英語教育について ・中学校社会科教育について ・特別支援教育について ○「かがやく和歌山市」の配付 ○教育論文の募集 	<p>平成29年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○毎年度新たに3テーマを選定し、研究員活動を実施する。(テーマ総数6) ○「かがやく和歌山市」の配付 ○教育論文の募集

2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	2,489	4,067	2,447	2,590	2,355	2,382	2,340		2,340	
伸び率 (%)	-	-	-1.7%		-3.8%		-0.6%		0.0%	
人件費	常勤職員	5,164	4,316	4,316	4,398	4,398	3,560	3,560	3,560	
	非常勤職員	181	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	5,346	4,316	4,316	4,398	4,398	3,560	3,560	3,560	
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源 (税等)	2,489	4,067	2,447	2,447	2,355	2,382	2,340		2,340	
所要人数	常勤職員	0.70	0.58	0.58	0.58	0.58	0.47	0.47	0.47	
	非常勤職員	0.09	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0	
主な予算内訳	顧問報酬120 (千円)、非常勤職員社会保険料負担金1 (千円)、管外出張旅費180 (千円)、市内出張旅費270 (千円)、消耗品費22 (千円)、食糧費2 (千円)、印刷製本費1,668 (千円)、会場その他借上料17 (千円)、図書購入費60 (千円)									

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
活動指標	研究員活動回数	年度目標値	66			66	66	66	66	66	
		実績値	66			66	60	70			
	単位	回	全体目標値	66	全体目標達成度	106.1%	年度別達成度	100.0%	90.9%	106.1%	
			年度目標値				実績値				
成果指標	副読本配付率	年度目標値	100			100	100	100	100	100	
		実績値	100			100	100	100			
	単位	%	全体目標値	100	全体目標達成度	100.0%	年度別達成度	100.0%	100.0%	100.0%	
			年度目標値				実績値				
		全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	各事業は計画通り実施した。今後も、社会科副読本については、子どもの学習がより一層広がるよう見直し、改善を図るとともに、小学3年児童への配付を継続する。
「見直し」 「改善」案	研究所員活動は、学校現場へも活動を普及できるよう、広がりを持つ方策を考え、より充実させていく予定である。平成28年度は、例年の実践発表に加え、外部から講師を招き講評をいただくとともに、取組の一層の発展のための助言をいただく。